

# 会館だより

---

---



2013年 11月号

No. 293



公益財団法人 日中友好会館

---

---



## 目次

### 行事案内

#### 《日中友好後楽会》

- ・ 会員総会（もみじの会）

#### 《日中友好会館美術館》

- ・ 貸美術館催事 「第12回天真書法塾発表会」

### 活動記録

- ・ 日中平和友好条約締結 35周年記念 日中友好会館設立 30年感謝会
- ・ 日中友好会館所蔵絵画 藤沢巡回展「中国絵画展」を開催
- ・ 9月談話会
- ・ 「JENESYS2.0」中国青年ボランティア代表団が来日
- ・ 「JENESYS2.0」中国経済界青年代表団として 農業経済関係者ら一行 30名が来日

### コラム

- ・ 理事長のツイッター

### 会館行事と人の動き

#### 表紙

中国少数民族「白（ペー）族」

人口約 185 万人、雲南省、貴州省、湖南省、四川省などに居住。

旧暦の 3 月 15～25 日には雲南省大理にて 1000 年以上続く伝統的な「三月街祭り」が開催され、パザールやパレードや民族舞踊などが行われる。

（中国文化部発行の「認識中国 五十六民族」から抜粋して、隔月で少数民族を紹介します。）



## ● 行事案内 ●

### 日中友好後楽会

#### ◆会員総会（もみじの会）

今年も小石川後楽園内にて後楽会会員総会（別名：もみじの会）を開催します。紅葉を愛でながら会員同士の懇親が深まればと思います。小石川後楽園は、入園最終時間が16:30（17:00 閉園、入園料別途）となっておりますので、紅葉をご覧になる方はお早めにご入園ください。

日 時： 11月29日(金)  
17:30より（受付17:00～）  
会 場： 小石川後楽園  
涵徳亭（かんとくてい）  
参加費： 会員 3,000円/人、  
非会員 4,000円/人

※11月は中国旅行と会員総会がありますので、  
定例談話会はお休みいたします。

#### 【お申込み・お問合せ】

後楽会事務局 小林、大竹、緒方  
電話：03-3811-5305  
FAX：03-3811-5263  
メールアドレス：kourakukai@jcf.or.jp



### 日中友好会館美術館

#### ◆貸美術館催事

#### 「第12回天真書法塾発表会」

会 期：  
2013年11月29日(金)～12月1日(日)  
時 間：10時～17時  
\*初日は12時から  
最終日は15時30分まで  
主 催：  
一般財団法人天真会天真書法塾

天真書法塾では過去11年間を通じて毎年、一年の成果を発表する場として日中友好会館に於いて展覧会を行っております。

基礎科生・本科生・専攻科生、支部教室生は中国古典を手本とした臨書作品を、師範科生は自由制作作品を展示しております。

今年も成長しました生徒の作品を観ていただきたく、皆さまのおいでをお待ち申し上げます。

#### 【お問合せ】

一般財団法人 天真会天真書法塾  
電話：03-6272-9902

## ● 活動記録 ●

### ◆ 日中平和友好条約締結 35 周年記念 日中友好会館設立 30 年感謝会



岸田文雄外務大臣、程永華特命全権大使らご来賓と  
開会前に記念撮影

当公益財団では日中平和友好条約締結 35 周年ならびに当公益財団設立 30 年を記念して、9 月 20 日(金)に東京プリンスホテルプロビデンスホールにおいて標記式典を開催しました。

式典にはこれまで当公益財団の交流事業にご協力いただいた関係者の方々に多数ご出席いただき、政界からは岸田文雄外務大臣、林芳正農林水産大臣、山口那津男参議院議員、海江田万里衆議院議員をはじめ多数の国会議員が、中華人民共和国駐日本国大使館からは程永華特命全権大使、呂克儉公使が、日中友好六団体からは河野洋平日本国際貿易促進協会会長、加藤紘一(公社)日本中国友好協会会長が出席するなど非常に華やかな式典となりました。

はじめに岸田文雄外務大臣から、続いて程永華特命全権大使から祝辞を頂戴しました。当公益財団が長年実施してきた日中友好交流活動について、草の根の活動の重要性について、両国関係の現状と重要性について述べられ、当公益財団の益々の発展を祈念する旨の祝辞を頂戴しました。

続いて江田五月会長の挨拶では、これまで当公益財団の運営にご協力いただいた方々に感謝の意を伝え、当公益財団の交流事業を紹介するとともに、現在の両国関係を憂い、今後とも日中友好交流活動を促進していく旨、抱負を述べました。

河野洋平日本国際貿易促進協会会長のご発声で乾杯の後、歓談がスタートし、歓談の冒頭に福田康夫元内閣総理大臣より頂戴した祝電を紹介しました。また、NHKより提供いただいた1978年北京の人民大会堂で行われた日中平和友好条約調印式の模様や、日中平和友好条約批准書交換の際の東京での歓迎式典などの貴重な映像を上映しました。続いて会館設立からこれまでの友好交流活動の歴史、事業紹介のスライドショーを上映しました。条約締結式典の貴重な映像や、善隣学生会館時代の懐かしい建物が映し出されると、出席者からは当時を懐かしむ声が聞かれました。

歓談の後半には後楽寮芸術団によるパフォーマンスが披露され、歌に踊り、民族楽器の演奏、合唱などで会場をおおいに盛り上げ、式典に華を添えました。

当公益財団は今後とも日中友好交流活動に邁進していく所存です。

お忙しい中、式典にご出席いただいたご来賓の皆様、並びに式典の開催にご協力いただいた全ての方々に感謝申し上げます。



後楽寮生による合唱

(感謝会実行委員会)



## ◆日中友好会館所蔵絵画 藤沢巡回展「中国絵画展」を開催



作品に見入る来場客

8月10日(土)～25日(日)、神奈川県藤沢市民ギャラリーにて、当会館が所蔵する絵画作品が展示された。主催は(公財)藤沢市みらい創造財団、(公社)藤沢市観光協会、湘南日本中国友好協会をはじめ計6団体から成る中国絵画展実行委員会。

作品は齊白石、沈柔堅、程十髮、鄭子愷といった中国現代著名画家によるもの21点で、中国画、油絵、水彩画、漆画など多岐にわたる分野の絵画を紹介した。

8月10日の開幕式では、藤沢市鈴木恒夫市長、藤沢市みらい創造財団 小野晴弘理事長、日中友好会館 武田勝年理事長が挨拶・テープカットを行った。



武田勝年理事長（開幕式にて）

来場された方々からは「中国画とはどういうものか初めて知った」「現代油絵の素晴らしさを知った」など好評だった。

今後も会館としては、藤沢市をはじめとする日本各地で文化交流、青少年交流などを通して日中友好促進に尽力していきたい。

(文化事業部)

## ◆9月談話会



自身が制作した模写作品を紹介する講師の李さん

9月の談話会は、後楽寮生の李艶梅さんを講師に迎え、「東洋絵画色彩の物語」というテーマで講義しました。中国画と日本画の色彩や顔料の違いなどを詳しく説明したのち、現代中国画作品の画像を見ながら、特徴や日本画との相違点・類似点を紹介、また中国で現代に生まれた「岩彩画」の紹介をしました。

(後楽会事務局)

## ◆ 「JENESYS2.0」 中国青年ボランティア代表団が来日 一行30名が東京・岩手を訪問



遠野まごころネットで被災地ボランティアについて熱心にブリーフを受ける

8月27日から9月3日までの日程で、中国青年ボランティア代表団(団長=関立彤 中国日本友好協会秘書長)が来日した。本団は、中国でボランティアに携わる社会人・学生で構成された計30名で、外務省が実施する「JENESYS2.0」の一環として招聘した。

代表団は、東京と岩手を訪問し、日本のボランティアとの交流や、東日本大震災の被災地視察、企業訪問、地方自治体によるブリーフなどのほか、「クールジャパン」をテーマにさまざまなプログラムに参加し、政治・経済・歴史・文化・社会に関する包括的な対日理解を深めた。

### さまざまな角度から 日本のボランティア活動を理解

東京では東京都生活文化局を訪問し、自治体としてのボランティア活動の支援や、生活文化局の取り組みについてブリーフを受けた。三菱商事株式会社では、社会貢献・復興支援や、ボランティア活動への取り組みについて説明を受けた。実際にボランティア活動に参

加した社員から、活動内容の紹介もあり、団員は真剣に耳を傾けていた。

岩手県では沿岸部の被災地域の支援活動の拠点となる遠野市を訪問し、NPO法人遠野まごころネットのブリーフを受けた。団員の多くが四川省周辺の出身で、2008年の四川大地震を経験しており、被災後のボランティア活動について積極的に質問がなされた。あいにくの雨により、農業支援のボランティア活動は中止となってしまったが、釜石市と大槌町の被災地視察では、じっくりと時間を掛けて語り部の話を聞くことができた。語り部の口からは当時の様子がリアルに語られたが、厳しい体験とは対照的にとても深刺としたその人柄は、東北のひとびとの復興に対する姿勢を見るようで、団員には力強い日本人像として印象深く映ったようだった。



釜石港を見下ろす高台で  
ボランティアガイドが説明

### 美しい里山や平泉で日本文化に触れる

岩手県遠野市産業振興部商工観光課からは、「地域と観光の特色について」をテーマに、四季折々の遠野の風景や伝統行事などの紹介を受けた。また、遠野に伝わる座敷わらしや河童の伝説に触れ、ある団員からの「河童を捕まえたらどうすればいい?」という真剣な質問に、一同笑いが起きる場面もあり、地方ならではの、ほのぼのとしたブリーフとなった。

また、遠野ふるさと村では、水車や茅葺屋根の残る100年以上前の古い民家が移築されており、豊かな自然と懐かしい里山の風景の中、思い思いに写真を撮るなどして楽しんだ。さらに、平泉で世界遺産の中尊寺、毛越寺を参観し、長い歴史を有する奥州の文化に触れた。

そのほか一行は、国会議事堂、皇居二重橋、日本科学未来館の参観やグリーン株式会社への訪問など、さまざまなプログラムを通してクールジャパンを体感した。団員からは今回の訪問を通じて、「日本人の他人を思いやる心が随所で感じられ、日本に対する印象が訪日前と変わった」という声が多く聞かれた。

本団の受け入れにご協力下さった関係機関・関係者の皆様に、この場を借りて厚く御礼申し上げたい。

(総合交流部)



## ◆ 「JENESYS2.0」 中国経済界青年代表団として 農業経済関係者ら一行30名が来日 東京、滋賀、奈良、大阪を訪問

中国経済界青年代表団(団長=程海波 中国日本友好協会友好交流部部长)が、9月12日から9月19日までの日程で来日した。本団は、中国の農業経済関係者を中心とする経済関係の青年で構成され、外務省が推進する「JENESYS2.0」の一環として実施し、一行30名を招聘した。



大阪市中央卸売市場本場にて  
青果の競りを間近で視察

代表団は、東京、滋賀、奈良、大阪にて、農業地区や農業団体、農産物直売所、卸売市場、小売店、農業・食品関連の博物館など、農業経済に関連する訪問・視察を行ったほか、地方自治体によるブリーフや世界遺産参観、日本文化体験など、包括的な対日理解を深めるためのさまざまなプログラムに参加した。

### 日本の農業経済に関する多彩な活動

はじめに東京にて外務省を訪問し、幹部職員より歓迎を受けた後、農林水産省の職員から、日本の農業の概要に関する講義を受けた。そのほか、JA 東京あおばでは、日本の特徴である農業団体のJAや、近郊農業に関するブリーフを聞いた後、農産物直売所を視察した。日本の農業経済への理解を深めるために不可欠な基礎知識



について丁寧な説明を受け、団員はとても興味深く見聞きしていたようだった。

関西へ移動し、滋賀県では近江八幡市の水茎干拓土地改良区を訪れ、農業地区の地域振興や環境保護、干拓地や兼業農家に関する具体的な説明を聞いた後、色の違う様々な種類の稲を使って水田に絵を描く、水田アートを視察した。今年にはパンダが描かれており、団員は嬉しそうに写真を撮っていた。長浜市では、今年オープンしたばかりのヤンマーミュージアムを視察し、プレス技術やミニショベル操作の体験などを行った。大阪を訪れた一行は、大阪市中央卸売市場本場を訪問し、実際に青果の競りが行われる様子や、水産売場で魚をさばく様子を間近に目にすることができた。また大阪府咲洲庁を訪れ、府職員より大阪府の観光と農政に関するブリーフを受けたほか、府内を一望できる、地上 252mの庁舎展望台を案内してもらった。イズミヤ八尾店では、スーパーマーケットの営業形態や、農産物や商品の仕入れの流れについて説明を受けた後、広い店内を実際に見て回った。折しも訪問の前々日に、淀川でおぼれた小学生を中国人留学生が救出するということが起こり、歓迎挨拶と共に感謝の言葉が送られるという心温まる場面も見られた。池田市ではインスタントラーメン発明記念館にて、オリジナルカップラーメン製作を体験するなど、珍しい展示内容を楽しんだようだった。



近江八幡市・水茎干拓土地改良区の水田アート

## 日本の魅力に触れ、対日理解を一層深める

奈良では世界遺産である東大寺、法隆寺、唐招提寺、元興寺を参観した。東大寺の広い境内と大きな仏像、周辺の鹿といった、特徴ある古都の雰囲気や、法隆寺や元興寺の静かな佇まいは、団員の目にとっても魅力的に映ったようだった。唐招提寺では故郷に帰ることなく生涯を終えた鑑真和上の御廟を参観し、感慨深そうな様子だった。

そのほか一行は、皇居二重橋参観や、風情ある町屋が並ぶ地域にて点茶体験をするなど、多彩なプログラムを通して、日本の魅力に触れることができた。

今回の訪問を通じて、「実際に現場で働く人々から話を聞き、現場を視察することができて、日本への理解を深めることができた」「日本の人や企業、仕事のプロセス、伝統的なものなど、それぞれに日本の文化や特徴、また中国との共通点があり、隣国を一層身近に感じることもできた」という声が聞かれた。

また期間中、台風18号によって日本各地が被害を受ける中、訪問ルートは影響されることが無く、予定通りにスケジュールを遂行できたことは幸いだった。

本団の受け入れにご協力下さった関係機関・関係者の皆様に、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

(総合交流部)

## ● コ ラ ム ●



### 理事長のツイッター

(公財)日中友好会館 理事長 武田 勝年

例年以上に暑い夏が終わりを告げ、朝夕は涼しい風が感じられる季節になりました。

9月20日(金)、東京プリンスホテルで「日中平和友好条約締結35周年記念 日中友好会館設立30年感謝会」を開催しました。岸田文雄外務大臣、程永華中国大使からお祝いと激励のお言葉を頂いた他、林芳正農林水産大臣、山口那津男公明党代表、海江田万里民主党代表、竹下亘衆議院議員、河野洋平日本国貿促会長、加藤紘一日本中国友好協会会長、任政光日本華僑華人聯合總會会長、廖雅彦東京華僑總會会長等要人にもご出席頂き、来賓254名に会館職員、日中学院教職員、後楽寮生を加えて感謝会参加者総数は約330名でした。江田五月会長が挨拶の中でも触れられた通り、日中友好会館の活動は本当に多くの方々のご理解とご支援に支えられています。来賓には、中国との関係が深い国会議員、中国大使館、在日華僑・華人、日中友好事業に尽力されている団体、外務省他日本政府や地方自治体、関係企業、大学、文化団体、報道機関、ホームステイや交流活動を通じて後楽寮生を支援して下さる方々、日中友好後楽会会員が居られました。この厳しい時期にこのようなレセプションを催すことについては、会館役員から種々ご意見を頂きましたが、皆様に感謝の気持ちを伝えることが出来たことは良かったと思っています。

後楽寮芸術団は、素晴らしい歌、舞踏、楽器演奏を披露してくれました。日本の大学の修士・博士課程で勉学に勤しむ傍ら、日本文化と社会そして日本人を理解しようと努力している後楽寮生は、今後の中国を支える人材であり、日本と中国との架け橋として大きな役割を果たしてくれるものと期待しております。

感謝の気持ちに加えて、今後も「民間」「草の根」をキーワードに両国相互交流の深化と理解促進に更に努力しなければならないと強く感じた2時間でした。



懇談する程永華中国大使と  
江田五月日中友好会館会長



多くの来賓で会場が華やかな雰囲気



## 会館行事と人の動き 9/1～30

### ● 会館行事

- 8/27～9/ 3 ▶「JENESYS2.0」中国青年ボランティア代表団来日(9/2 同団歓送報告会)
- 9/ 4 ▶後楽会談話会「東洋絵画色彩の物語」(講師：李艶梅)
- 9/ 5 ▶後楽会気功・中国画教室
- 9/12～9/19 ▶「JENESYS2.0」中国経済界青年代表団来日(9/13 同団歓迎会、9/18 歓送報告会)
- 9/13～9/30 ▶「JENESYS2.0」中国大学生訪日団第6陣来日(9/24 同団歓迎会、9/29 歓送報告会)
- 9/17 ▶第8回理事会
- 9/19 ▶後楽会気功・中国画教室
- 9/20 ▶日中平和友好条約締結35周年記念 日中友好会館設立30年感謝会
- 9/20～9/23 ▶貸美術館催事「第19回 BESETO 美術祭東京展」(9/20 同展開幕式)
- 9/26～10/20 ▶「中国を彩ったポスター展」(9/25 同展代表団歓迎会、9/26 開幕式・作品解説)
- 9/28 ▶後楽寮国慶節祝賀会

### ● 来館・訪問・面会

- 9/ 5 ▶中国大使館 律桂軍参事官 面会(武田理事長、王中国代表理事他)
- 9/11 ▶中国留学生友の会 藤田事務局長ら来館
  - ▶元後楽寮生 広東広播電視大学 李力教授 来館
- 9/23 ▶中日友好協会王秀雲副会長との会食(江田会長、武田理事長、小島事務局長他)
- 9/27 ▶元寮生 福建農業大学 呉徳峰教授 来館

### ● 行事参加、その他の活動

- 9/ 1 ▶中国大使館教育処座談会(於:後楽寮食堂)
- 9/ 3 ▶中国大使館教育処座談会(留学生事業部、後楽寮芸術団)
- 9/19 ▶中国大使館教育処中秋節懇親会(武田理事長、留学生事業部)
- 9/26 ▶7団体懇談会(武田理事長、小島事務局長)
  - ▶中国大使館国慶節パーティー(武田理事長、王中国代表理事他)
- 9/28 ▶東京華僑総会国慶節パーティー(武田理事長、王中国代表理事他)



2013年11月1日発行 第293号  
発行 公益財団法人 **日中友好会館**  
〒112-0004 東京都文京区後楽1丁目5番3号  
電話(03)3811-5317 FAX(03)3811-5263  
<http://www.jcfc.or.jp/>